

～ウィズコロナの時代だからこそ忘れないでおきたい～

災害から「命と多様性」を



守るためのココロの準備

コロナ禍においても、大規模自然災害は発生しています。いろいろな防災グッズもありますが、同時に重要なのは、心の備えです。性別の違いで困る問題や、様々な事情のある人々との避難生活など、いざという時にあわてないように、災害について一緒に考えましょう。

日時：11月14日(土) 10:00～12:00

(講義、まとめ45分・グループワーク60分を予定)

場所：東りいたみホール 6階 中ホール

(伊丹市立文化会館) 伊丹市宮ノ前1-1-3

定員：50名(予定)

受講料：無料(要申込・先着順)

講師：朴木 佳緒留

ほうのき か おる
神戸大学名誉教授、京都教育大学監事

企画 NPO法人 あなたらしくをサポート(愛称:らしーく)

伊丹市民オンブードに縁があるメンバーが集まり、伊丹市で2013年からNPO法人として活動しています。「だれもが自分らしく暮らせる社会」というミッションに基づき、講座・イベントの開催をしています。



お申込み・お問い合わせは…

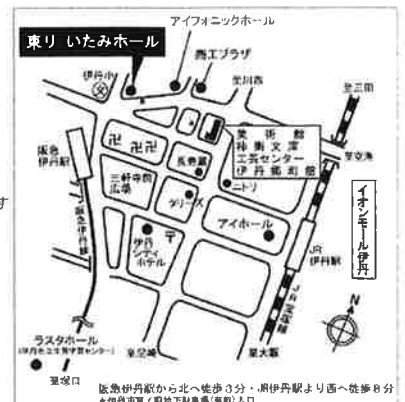
ラスタホール TEL 072-781-8877 <火曜休館>

メール受付は lustrehall-itami@hcc1.bai.ne.jp へ

講座名・住所・氏名・電話番号を明記してください。送信後ラスタより返信がない限り、申込確定ではありませんのでご注意ください。(2～3日中に返信がない場合はお電話でお問い合わせください。)

※お申込みは電話・メールで受付いたします。
※受付時間は9時～17時です。

こちらからもアクセスできます





講師プロフィール

ほうのき

か お る

朴木 佳緒留

1949年、島根県生まれ。1974年、広島大学大学院教育学研究科修了。鹿児島女子短期大学、金沢大学教育学部を経て、1983年より神戸大学。神戸大学男女共同参画推進室長(2007～2010年)、神戸大学大学院人間発達環境学研究科長、発達科学部長(2009～2012年)、学長補佐(2012～2015)。

現在、神戸大学名誉教授、京都教育大学監事(2016～)。専門領域は教育学(社会教育、ジェンダー論)。

近著は『なくそう！スクールセクハラ』かもがわ出版、2009(編著)、『日本の社会教育第57集 労働の場のエンパワメント』東洋館出版社、2013(編著)、『希望への社会教育』東京館出版、2013(共著)など。ジェンダーと震災に関係したものとして、「阪神淡路大震災と女性問題」『月刊 社会教育』No. 480(1996)、「震災後の生活・労働のジェンダー・バイアスと女性問題学習」『日本社会教育学会紀要』No. 32(1996)、「阪神・淡路大震災にみるジェンダー問題—家族・労働・家事分担について—」『日本家政学会誌』Vol. 49, No. 2(1998)、「震災が女性労働にもたらすもの」『女性労働問題研究』No. 59(2015)など。



NPO法人 あなたらしくをサポート(愛称らしーく)

伊丹市民オンブードに縁のあるメンバーが集まり、兵庫県伊丹市で2013年からNPO法人として活動しています。「だれもが自分らしく暮らせる社会」というミッションに基づき、講座・イベントの開催をしています。伊丹市内外の子どもから高齢者まで、すべての人が自分らしく生きることができるよう、男女共同参画の視点に基づく各種の活動を行うことにより、自信と安心と笑顔に満ちた生き活きとした地域づくりに寄与することを目的としています。

↓らしーくの活動はこちらから

web : nporasiku.jimbo.com

Facebook : www.facebook.com/nporasiku

↓ お問い合わせは

Mail : nporasiku@gmail.com



- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、日程変更または中止となる場合がございます。
- ご持参いただいたマスクを、来館中着用していただきますようお願いいたします。
- 体調不良(咳、発熱、腹痛、嘔吐、倦怠感、息苦しさ、嗅覚異常)の場合は受講を中止していただきますようお願いいたします。
- ご自宅を出られる前に検温をお願いいたします。